

# 佐保会兵庫県支部だより

## 第41号

佐保会兵庫県支部事務局

〒651-1133  
神戸市北区鳴子2丁目19-6 永福方



「やしろこどものいえ」と大賀ハス

松井千幸様（H10理修生）のお父様 松井睦明様撮影

（平成二九年六月）

## 平和な世界を願って

岸本 律子（S44家修食）

兵庫県支部のみな様如何お過ごしでしょうか。支部だより第41号は北播磨地区が担当しました。本地区の会員数は、三三人と少人数ですが、協力して活動しています。

表紙の写真の建物は、平成一年に竣工した加東市立社児童館「やしろこどものいえ」で、大賀ハスで有名な平池公園の一角に悠然と佇んでいます。児童館は、「地域の子育て環境づくり」や「放課後の児童の居場所づくり」などを担っています。故菊沢康子様（当時兵庫教育大学教授 S42家修住）は児童館建築を含む事業に関わる委員をされ、設計は現支部長永福より子様（S44家住）が担当されました。平池公園は加東市と小野市の境にあり、周辺は田園地帯がどこまでも広がり、白鷺や青鷺が飛び立つ風景は平和そのものです。

しかし、世界に目を向ければ、平成二九年は、米国トランプ大統領が誕生し、保護主義を唱え、移民問題、人種差別等々で混乱を巻き起こしています。また、北朝鮮のミサイル発射や核実験、イスラム過激派による数々のテロ事件、それに大地震が各地で発生し、平和を脅かす事件が次々と起こっています。

私は、四六年間勤めた大学を定年退職した後、三度目の茶道の稽古を始めました。静寂な茶室で、釜に水を注ぐときの快い響きは、世間と私ごとの争いや煩わしさから解放し、穏やかな気持ちにさせてくれます。利休百首の冒頭に「その道に入らんとする心こそ我身ながらの師匠なりけれ」の和歌があります。その道に入り、その道を学ぼうとするには、まず目標を立て自発的に習ってみるといふ心構えが大切であることを教えています。人生の後半に入って、この一首に出会ったとき、新鮮な気持ちで甦り、学びの奈良女に入学した頃を思い出して元気づけられました。親元から離れて自由になった喜びと、素敵な出会いを期待していたあの頃。大学卒業と同時に佐保会に入会し、先輩達に強引に佐保会総会と奈良県支部総会に出席させられました。兵庫県支部に移った後は、仕事は忙しく、もより会に時々参加する程度でしたが、現在は、興味ある支部の行事に積極的に参加して日々の生活に弾みをつけています。若いみな様の参加を願っています。

# 平成29年度 佐保会兵庫県支部総会

平成29年6月3日(土) 神戸風月堂ホール

## 卒寿のお祝い (昭和23年卒業)

榊原 恭子 様 (文1)  
松谷千恵子 様 (家)  
那須 瑞子 様 (臨家)  
田淵 一美 様 (臨家)  
石橋 令子 様 (家)

## 卒後55年のお祝い (昭和37年卒業)

上田 俊子 様 (理数)  
瀬 正子 様 (家食)  
玉置 綾子 様 (家被)  
尾上 昭子 様 (文地)  
岡本 悦子 様 (家被)  
前川 玲子 様 (文英)  
大田奈緒美 様 (理化)  
都筑久美子 様 (家被)  
鈴木 久子 様 (家食)  
吉村 節子 様 (文英)  
坂倉 晴恵 様 (家食)  
後藤 方江 様 (家住)  
都築 映子 様 (家食)  
濱口和喜子 様 (文英)  
寺田 翠 様 (文幼)  
高山 淑子 様 (家被)  
中田 秀子 様 (文幼)  
小林 嘉子 様 (家被)

緑の鮮やかさが日々深まりつつあるさわやかな晴天の土曜日、神戸風月堂ホールには、昭和二九年から今春卒業された方までの佐保会員五三名が一堂に会しました。毎回参加の方や久しぶりに参加して下さった方、今回が初めての方等がそれぞれに昔話や近況等をお話しされ、和やかな雰囲気の中、平成二九年度佐保会兵庫県支部総会が開催されました。

まずこの一年に逝去された方々への黙祷から始まりました。永福支部長の挨拶の後、新入会員の紹介があり、今春卒業された胡様の初々しい挨拶がありました。その後、会次第に従って進められ、事業計画案、収支予算案等すべて滞りなく承認されました。また、支部長より「佐保会兵庫県支部の現状と問題点の認識」についてのお話がありました。

続いて、卒後五五年のお祝いには六名の方が登壇され、それぞれ近況や感想を述べられました。卒寿を迎えた方は五名いらっしゃいます。

次に、本部理事の片寄様が佐保会本部の様子を次のように報告されました。佐保会館の耐震補強の大修理から一〇年たち、今年は西側大屋根・鬼瓦・雨漏りの修理、しっかりした手すり設置等を予定しています。佐保塾でのイベントや恋都祭に合わせたバザー等積極的な活動がなされています。皆様、どうぞご協力下さい。

引き続き、特別企画第一部として奈良女子大学の小路田泰直副学長の「奈良女子大学の現状について」と題したお話がありました。また、「奈良女子高等師範学校とアジアの留学生(奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学センター編・敬文社)」「日本史論―黒潮と大和の地平から(小路田泰直著・敬文社)」の二冊を本支部にいただきました。

昼食後、第二部の奈良女子大学「Jazzzy Club」による元気なジャズ演奏を聞きました。

最後にピアノ伴奏に合わせて奈良女子高等師範学校校歌を斉唱して総会は終了しました。

### 会次第

- 一 開会のことば
- 二 支部長あいさつ
- 三 新入会員紹介
- 四 議長退任
- 五 議事
- ① 平成28年度事業報告
- ② 平成28年度収支決算報告
- ③ および監査報告
- ④ 平成29年度役員承認
- ⑤ 平成29年度事業計画案
- ⑥ 平成29年度収支予算案
- ⑦ その他
- 六 記念品贈呈
- 七 卒寿のお祝い
- ① 卒後55年のお祝い
- ② 報告
- ③ 一般社団法人佐保会および奈良女子大学同窓会佐保会その他
- 八 特別企画
- 第一部 大学の現状について  
奈良女子大学 副学長 小路田泰直氏
- 第二部 奈良女子大学 Jazzzy Club によるジャズ演奏
- 九 奈良女子高等師範学校校歌 斉唱
- 閉会のことば



### －哀悼－

森垣 恒子 様 (S15家) H26.12	井上千恵子 様 (S38家被) H28.8.29
春田 君子 様 (S26家) H28.2.13	曾谷 愛子 様 (S12家) H28.10.11
長岡 久子 様 (S11保) H28.2	菅江 謙一 様 (賛助会員) H28.10.14
田邊 幸子 様 (S17文) H28.6.15	南原 律子 様 (S55理物) H28.11.25
萩野 美子 様 (S33家住) H28.6	井上 たみ 様 (S15家) H29.2.2
香川 敦子 様 (S12理) H28.7.13	吉岡美智子 様 (S27体) H29.3.11

平成30年度 支部総会  
平成30年5月27日(日)  
ホテルクラウンパレス神戸 JR神戸駅南(直結)

### 平成29年度 新入会員 (35名)

卒業学部	氏名	住所	卒業学部	氏名	住所	卒業学部	氏名	住所
文古代	岡崎 有紀	灘区	理物	浅野 七瀬	明石市	生環住	前田 美里	西区
文歴史	亀松 花奈	養父市	理化	仁木 舞子	県外	生環文	古瀬 悠	宝塚市
文歴史	本川真優子	中央区	理化	藪田 陽子	東灘区	生環文	香川 葵	西宮市
文メディア	綱嶋 葉名	豊岡市	理生	酒居 真友	西区	生環文	梶浦 真琴	西宮市
文メディア	渡邊 奈菜	宝塚市	理情	胡 好皓	姫路市	生環文	藤本笑美加	加東市
文日亜	乾 千秋	伊丹市	生環食	木村 素子	西宮市	生環文	山下 優里	尼崎市
文スポ	和仁 優香	西宮市	生環健	小山 あすか	西宮市	博前情	米田 詠美	県外
文子ども	山内 薫子	灘区	生環健	西村 美穂	西宮市	博前食	山上小百合	西宮市
理数	大谷 菜月	姫路市	生環衣	山本 実穂	赤穂郡	博前食	中野 紀子	伊丹市
理物	尾尻 礼菜	尼崎市	生環住	石橋 彩乃	須磨区	博前心	中野 美玖	西宮市
理物	深川 千宙	加古川市	生環住	石橋 まりな	川西市	博前住	五十嵐 桃子	尼崎市
理物	正川 みのり	加古川市	生環住	大原 陽菜子	西区			

(敬称略)

ご挨拶

支部長 永福より子 (S44家住)



兵庫支部は支部だよりの発行や研修会(標の会、HP研究会、佐保会兵庫読書会)などの活動を積極的に進めています。

なかでも「もより会」と「睦会」は兵庫支部独自の会です。広域な兵庫には地区ごとに気軽に懇親できるもより会があり、多くの会員の参加があります。睦会は六〇歳以上の会員のための親睦会です。また、充実したホームページは他支部からも高い評価を得ています。ホームページの作成、管理はHP研究会によるものです。

一方、兵庫支部には問題もあります。近年、財政赤字が続いています。経費節約の一環として、今年から皆様へメールアドレスの登録をお願いしています。メールでのやり取りは通信費の節約になるだけでなく、会員相互のコミュニケーションも取りやすくなりま

さらに魅力のある同窓会にするため努力を続けたいと思います。

特別企画 第一部

大学の現状について

奈良女子大学 副学長(企画・広報担当)

小路田泰直氏



今、多くの団体において財政難が囁かれています。奈良女子大学もその例外ではなく、ここ数年は研究費が半減している。

奈良女子大学では、学生の留学、就学支援や学生寮の新築のために五億円を目標にして募金活動をしている。

文部科学省は大学を大きく三つに分類している。③世界で活躍できる巨大な大学、例えば旧帝国大学クラス、①地域の活性化に貢献する地方大学、そしてそれ以外の大学②である。奈良女子大学は②ではあるが、その評価は低く、②から①に位置づけられかねない。今後実績を伸ばし評価を上げて②に留まることが本学の使命と考えている。

この評価には、すべての中心は東京にあるとの大前提があるが、このような固定的な前提からは地方に役立つ大学の現状は見えてこない。

では、東京一極集中を変えるためにやるべきことは何だろうか。百数十年前の封建制社会では、江戸に中央政府があったが、その存在は際立ったものではなく、他の地域もおしなべて同等であった。現在も、地域が中央と同様に重要であるという視点を確立しないとけない。日本の中心は東京だけではない。日本社会には一つだけの中心ではなく、もう一つの中心が必要だ。地方の崩壊や、人口減少を乗り越え、地方にありながら中央としての能力を持っている大学が必要である。地方は自力で地域を強くしなければならぬ。関西をもう一度盛り返す必要がある。幸いこの地域には有力な大学が集中している。奈良女子大学は全国から学生が集まり、卒業後は津々浦々に帰って行く全国区であるという特色をもう一度よみがえらせよう。我々がもっと大きな必要がある。

では、具体的に何をすべきだろうか。まず、近畿の大学毎の小さな研究センターを一つにまとめることを考えている。「大和紀伊半島学研究所」と命名したい。この地域は能、お茶、スイカ、米など多くのものの発祥の地である。この地域を本気で研究すれば日本全体を研究することになる。この研究所を和歌山、三重、京都の大学の共同運用機関として、また、いたる分野で利用できる研究機関として、その要にしていきたい。さらに、留学生を増やし、日本に関心を持つ多くの人来てもらい、深いところで日本文化に関心

をもってもらいたい。

次に、この地域の全体が力を持つていくために、京都大学、大阪大学、神戸大学と共同で大学院を作れないものかと考えている。政府はイノベーション、社会的価値観の創造をうたっている。例えば、パソコンの画面のアイコンをクリックすることは日本人が最初に作った。しかし、優秀な人がパソコンを扱うので操作を簡単にしなくても良いと考えてしまった。一方、欧米では、情報は一部の人が持っているだけでだめで、誰でも使えないといけないと考え、操作性の簡単な商品の開発が進んだ。日本は技術では負けていなかったが発想で負けてしまった。価値観のレベルの差が現在に至っている。物づくりは社会的価値観の創造とイノベーションの結合である。大学の理学部は基礎科学、生活環境学部は応用工学、文学部は文化創造学などと特色づけ、文化とサイエンスが緊密に連携した大学院をつくりたい。奈良はその場を提供できる。本学の存在が日本の学問の存在になることを目指したい。実学を発展させるためには基礎学問が大切だ。基礎の充実なくして学問はない。研究を楽しんでやる学生を集め、良い学生を育てる環境や雰囲気を作っていく。

特別企画 第二部

奈良女子大学

「Jazzy Club」による演奏会

LOVE、ムーンライトセレナーデ、スキヤキ等一曲を楽しくリズムカルに、またしつとりと心をこめて演奏してください。またムード感あふれるジャズの生演奏に手拍子をしたり、リズムに合わせて身体を動かしたりして、贅沢な時間を持つてきました。とても素敵なステージだった。

演奏後、部長の金倉美さんと渉外担当の楠橋佳奈子さんにお話を伺った。

「Jazzy Club」は今年で創部九年目になります。それ以前はジャズを楽しもう的な存在のサークルでした。現在メンバーは三回生一四名、二回生一五

名、一回生一六名の総勢四五名で、文化祭や定期演奏会、七夕コンサート等で活動しています。また、近年は奈良ロイヤルホテルでクリスマスコンサートを行うなど活動の場を広げています。練習は週に三回です。火・木曜日は六時から九時まで、土曜日は一〇時から一三時まで練習しています。

部員は吹奏楽部経験者が多いが、初心者も大歓迎だそう。食堂での新入生歓迎コンサートでたまたま聞いて感動して入部したという学生も多いそう。「楽器は自前の人もありますが、大きな楽器は学校にもありません。しかしどうしても足りないときはその他の音楽サークルから融通してもらいます。今年はトロンボーンを管弦楽部から借りています。」とのこと。楽器の修理等に費用がかかるが上手にやりくりされているようだ。卒業後にCUBビッグバンドオーケストラに参加し、大学の文化祭のステージで演奏を披露される先輩もおられる。今年も定期演奏会が五周年を迎えるので、先輩と合同で演奏したいそうだ。

今後の意気込みをお聞きしたところ、「女子のみのビッグバンドは価値があると思います。演奏レベルを上げ、しっかりと素敵に活動していきたい。」と力強く語って下さった。大きなトラックで楽器を持ち込まれ、素晴らしい演奏を聞かせていただいた。また、とても礼儀正しい、しっかりした印象のお二人にお話を伺うことができた。今後の活動を応援し、更なる活躍を期待している。



事務局からのお知らせ

メールマガジンを発行しています

佐保会兵庫支部では平成二九年六月より無料のメールマガジン（メルマガ）の発行を始めました。メールアドレスの登録をしていただいた会員の皆様に佐保会のニュースなどをお送りしています。

メールアドレスの登録は佐保会兵庫支部のホームページからできます。パソコンだけでなく、携帯電話（スマートフォン）からも登録できます。個人情報厳守し、佐保会以外には使用しません。

※メールアドレス登録方法

登録は佐保会兵庫支部のホームページ「メールアドレス登録」からお願います。

佐保会兵庫支部

HPアドレス

<http://saho-hyogo.griffriend.jp/>

下記QRコードをご利用ください。



富山 谷本 門脇 西山  
乙武 橋本 永福 中井

本年度の支部役員です。二二〇人の会員（平成三〇年一月一日現在）の皆様どうぞよろしくお願します。

地区リーダー会

平成二九年八月二〇日（日）、神戸市勤労会館で第二三回を開催。二一地区中一七地区の地区リーダー、樺の会・ホームページ（以下HP）研究会・睦会・支部だより編集委員の各代表、事務局員の計三二名が出席しました。支部長あいさつの後、各地区リーダーから工夫を重ねた活動の様子の報告があり、情報交換も活発になされ、樺の会・睦会の報告、北播磨地区の「支部だより」一四一号の編集状況報告と次号担当の東灘地区の紹介、HP研究会からは兵庫支部のHP紹介・メール登録方法の説明・各地区のブログ作りに役立つアプリ等が紹介されました。

平成29年度 地区リーダー

地区	氏名	卒年・学部学科	地区	氏名	卒年・学部学科
神戸市	東灘区	松本佳代子 S44文英	阪神北	宝塚市	中島恵美子 S50理物
		橋本 晶子 S57理化			山本 恵子 S53家生
	灘区	上原美由紀 S62文国H01文修国	川西市 (川辺郡) 猪名川町	永尾 照美 S30文国	
		正木みどり H06理化		重松 絹枝 S47家被	
	中央区、兵庫区 長田区	中田 昌代 S56文社	三田市	角野 敏子 S58理物	
		佐瀬絵理子 S60理化		千代延 栄恵 S63家生	
	北区	松本久美子 S53 家食	明石市	丸岡 玲子 S53理数	
中村奈里子 S59文国		松尾 真理 S55理生			
須磨区	大橋 節子 S41文英	播磨	加古川市、高砂市 (加古郡) 播磨町、稲美町	川崎万紀代 S52理修数	
垂水区	八百美知子 S52理動S54理修生	北播磨	西脇市、三木市 小野市、加西市、加東市 (多可郡) 多可町	大西 香里 H06理数	
				出井 葉子 S55文教	常深 規子 S52理物
西区	川本 美鈴 S47文教	中播磨	姫路市 (神崎郡) 神河町 市川町、福崎町	夏美 S56理化	
				藤原ひろ子 S47理化S49理修化	福田 真紀 S58理数
阪神南	尼崎市	西播磨	相生市、たつの市 赤穂市、宍粟市 (揖保郡) 太子町 (赤穂郡) 上郡町 (佐用郡) 佐用町	坂本 薫 S61家修食	
				佐藤 美子 S48文史S50文修史	山本紀代美 H06家生
	伊藤 恭代 S54理化S56理修化	豊岡市、養父市、朝来市 (美方郡) 香美町 新温泉町			
西宮市	木村 恵子 S46家被	但馬	丹波	篠山市、丹波市	
	森田 幸子 S46家住				小林 嘉子 S37家被
芦屋市	池澤 直子 S49理化	淡路	洲本市、南あわじ市 淡路市	三角三紀子 S44理数	
	岡本 京子 S62家生H01家修生			奥田 敦子 S52文国S54文修国	
阪神北	伊丹市	浅田 真理 S61家生			
		林 淑美 S62家食H01家修食			

もより会

西播磨地区 福田真紀 (S58理数)

平成二九年一月二二日（日）イグレ姫路キャッスルミレで、平成二九年佐保会西播磨地区のもより会が開催されました。参加者は昨年二〇名から少し減って一六名。ちよつと残念です。私は二回目の参加で坂本薫様とお世話係をさせていただきました。

例年講演をお願いしていましたが、十分に談話の時間が取れないということで、今年談話のみにして、参加者お一人お一人に自身の経験談、活動など自由にお話ししていただくことにしました。

最年長の田藤幸子様・藤岡君代様 (S31) の乾杯の音頭で宴がスタート。ゆっくりお食事を楽しみながら、欠席の方の返信ハガキとメールを回覧後、順番に自己紹介や近況報告をしていただきました。お話の内容は、仕事、子育て、介護、ボランティアなど多岐に渡ります。やはり、日本は高齢化社会。ご高齢の親を介護されている話が多かったように思います。

お互いに親交を深めるなか、それぞれ立場の違う方々のお話、お考えを伺うことで、刺激を受け、元気をいただき、今後の自分を見つめ直すいい機会になりました。

最後に一同で恒例の記念写真を撮り、来年もお会いできることを願いつつ、お開きとなりました。ご参加くださったり会を盛り上げてくださった皆様に感謝いたします。



ホームページ研究会

丸岡玲子 (S53理数)

今年度の大きな取り組みは「メールを活用した連絡・情報発信」ではないでしょうか。メールマガジンの発行や総会等各種会合の案内を、従来のハガキに加えてメールで行うことにより、通信費のコストダウンが図れるだけでなく、タブレットやスマートフォンから簡単に何時でも佐保会の情報を見るのが可能になります。支部長や事務局の皆様、大切なメールアドレスを登録して下さった方々のご協力があってのことだと思っております。

次の目標としては「兵庫支部WEBサイトのスマートフォン対応」「各地区のサイト開設支援」に取り組みたいと考えています。

兵庫支部は、広い面積の中に千人を超える会員がいますので、離れた地区からのお知らせやもよりの会の様子、地区間の相互交流などにITが寄与できれば、活動委員一同、大変嬉しく思います。

月一回JR神戸駅近くの会場で楽しく和やかに活動していますので、「地区だよりサイト」を立ち上げたい」「パソコンのことで質問がある」といった方や、活動をお手伝い頂ける方がおられましたら、是非お気軽に参加頂きたいです。(日程はWEBサイトに掲載)

睦会

谷本彰子 (S49文英)

平成二九年一月八日(水)、第四二回睦会を湊川神社楠公会館で催し、三二名が集いました。支部長の挨拶の後、S49卒会員のご息で関西の若手落語家として活躍中の桂治門さんの一席から始まりました。落語で心をほぐした後は、治門さんからプレゼントがあり、「春団治」酒と「ジモン」手ぬぐいを治門さんとのジャンケンで勝ち残った四名が受け取りました。

次に会食に移り、中桐邦子様(S31)に乾杯の音頭を取っていただき、しばらく歓談した後、参加者の近況を一人ずつ話していただきました。それぞれに感動あり、笑いあり、今後の生き方を考えさせられることあり、佐保会員の絆を感じたひとときでした。また葉書の返事で、斎藤静子様(S36)が大学で観世会を立ち上げ、今年の六〇周年演奏会でOBとして参加されたことを知り、緑のある写真やチラシを手にお話をさせていただきました。欠席者の葉書も二通紹介しました。最後は校歌をCDのコーラスとともに歌い、先輩方の張りのある歌声が響き渡りました。



樺の会

播州織で有名な西脇市を訪ねて

鈴木美根子 (S42家食)

平成二九年六月二十二日(木)参加者三三名。県外参加もありました。

前日の嵐から一転して良いお天気なのか、三宮を出発。高速道路を走り、滝野・社インター



から、都麻乃郷あじさい園(西林寺)へ行き、数万本の花の中で約一時間、ゆっくり過ごしました。

次の訪問先は旧来住家住宅です。大正七年、銀行家の来住梅吉氏が自邸として建造した、芸術的価値の高い調度品など贅を尽くした豪邸です。建築価格は現在の価値で約二億四千万円に相当します。

昼食はのみ松屋で特産のローストビーフをいただきました。

その後、東経一三五度、北緯三五度が交わる日本へそ公園へ向かいました。続いて、播州織のtanaki nine ショップへ行き、稼働している織機の間を歩いて見学しました。また肌触りの良い、きれいなストールやブラウスの買物も楽しみました。

最後は、北はりまエコミュージアムで特産品を買いました。今回のツアーは西脇市の旅行助成制度を利用しました。楽しい有意義な一日でした。

樺(ゆずりは)の会 平成30(2018)年度 行事予定表

内容	会場	時間	講師(敬称略)	備考
4月26日(木) バスツアー三田方面 有馬富士公園 永沢寺(芝桜) 三田ふるさと学習館ほか	集合場所 三宮東急 REI ホテル前	9:00~17:00		参加費 5,000円 申し込み必要
6月28日(木) 文学講座 現代文学~ノーベル賞の周辺~	神戸市勤労会館	13:00~15:00	秋里 三和子	参加費 300円
7月26日(木) 国際交流 パートII ~映像を交えて~	神戸市勤労会館	13:00~15:00	川口 登美子	参加費 300円
9月27日(木) 食文化講座 ごはんのサイエンス	神戸市勤労会館	13:00~15:00	坂本 薫	参加費 300円
10月25日(木) 歴史散歩 網干の町を歩く ~神功皇后ゆかりの湊~	集合場所 山陽電車 網干駅	10:00~15:30	埴岡 真弓	参加費 3,000円 申し込み必要
11月22日(木) 美術鑑賞	美術館または博物館	13:00~15:00	学芸員解説 予定	入館料実費 申し込み必要
平成31年 2月28日(木) 福祉講座 口腔衛生	神戸市勤労会館	13:00~15:00	田村 照美	参加費 300円
3月28日(木) 音楽鑑賞 ピアノ演奏	三宮 磯上邸	13:00~15:00	松尾 紗里	参加費 2,500円 ケーキセット付き 申し込み必要

※事情により日時等変更することがあります。 ※佐保会員以外の方も歓迎  
※申し込み必要: 下記の運営委員、又は樺の会のEメール(yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp)にご連絡下さい。

平成30年度 運営委員 (代表) 鈴木美根子 (078-927-8532) (委員) 片寄眞木子 山下知子 岩崎雅美 乙武ヨシミ

# & 現代の科学技術

## 加東市 PETEC 「バナソニック エコテック ロジセンター」 「トレジャーハンティング (宝探し)」

つくる↓つかう↓もどす↓いかす↓

加東市内には四か所の工業団地があり、四七社が進出している。PETECは社工業団地にあり、二〇〇一年四月、事業開始。敷地面積 三八五七〇㎡。

近畿二府四県の使用済のテレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫から使える資源を効率的に取り出し、新しい商品の材料として再び役立つためのリサイクル施設である。各家電によって作業工程が少し異なるが、洗濯機では、鉄の次に多く使用されているプラスチックの高純度な選別が必要となる。種類の違うものが混ざってしまったと原料として再使用することができないから、そのために開発されたのが「浮沈式比重選別」技術である。混合プラスチック素材群を細かく砕き、ホコリを取り除いてから水槽に入れる。これを攪拌しながら流すと、軽量のポリプロピレン (PP) だけが浮き上がってくるので、純度九九・五%のポリプロピレン (PP) を取り出す。このようにして、ポリプロピレン (PP)・ポリスチレン (PS)・ABS樹脂の三種を同時に選別し、各種樹脂を純度九九%を超える精度で回収している。また、有害物質である水銀の入った蛍光管は破損しないよう専用ブースで解体し、安全に回収されている。

ここは施設見学を想定して設計されており、ガラスで仕切られた通路から家電ごとの作業工程を見ることができ、春・夏休みには多くの小・中学生が見学に訪れているそうだ。

## 西脇市 日本へそ公園

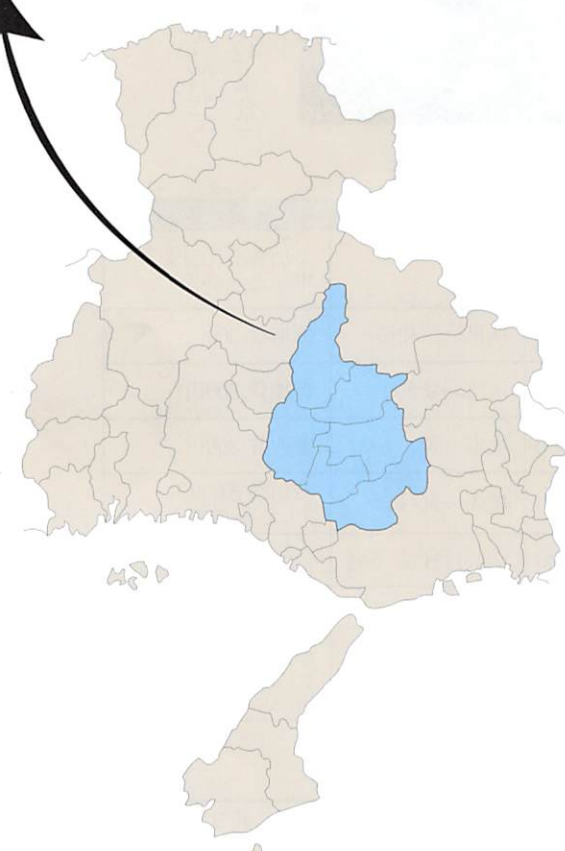
西脇市は「日本のへそ」、即ち東経一三五度、北緯三五度が交わる日本の中心に位置する。大正八年に西脇を訪れた東京高師の肥後盛熊先生が「この地は日本の中心にあたる」と話されたことに始まる。

その後、陸軍参謀本部陸地測量部による確定測量で経緯度標柱が建立されたが、戦前戦後と時代が進むにつれその存在が忘れられていった。昭和五二年、兵庫県「ふるさとを見直そう運動」により、「日本のへそ」として再認識されることになった。平成二年には国土地理院の協力で地球大測量が実施され、GPS測量により大正の測量からわずかにずれた「もうひとつの日本のへそ」が発見された。

「日本へそ公園」内には、世界的芸術家である西脇市出身の横尾忠則氏の作品を展示する「西脇岡之山美術館」が開設され、平成二五年からは現代美術の展示拠点となっている。

また、にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」にはプラネタリウムや国内最大級の口径八一cmの大型反射望遠鏡を備えた天文台があり、晴れた日には昼間でも星が観測できる。

のどかな田園と清流に囲まれた「日本へそ公園」は、宇宙との繋がりを感じるパワースポットとしても人気を集めている。



## 三木市 兵庫県広域防災センター

三木市にある兵庫県広域防災センターは神戸市に接し、平成一七年に阪神・淡路大震災復興計画の事業として設けられた。敷地は二五四haで、甲子園球場の六六倍にあたる。この施設は大別して二つある。

一つめの県立広域防災センターには消防学校やヘリポートなどがあり、大規模な災害が起こった時に全県をカバーできる防災の拠点となると共に、平時には防災の中心になれる人材を育てている。まず、一般の人を対象とした体験型の学習や訓練によって防災意識を高め、地域の自主防災のリーダーを育てること、次に災害に対応できる消防関係の人材の育成、さらに応急活動にあたる専門的なチームの能力向上を目指して、ガレキ救助訓練施設や防災ヘリポートなども活用した各種の訓練をしている。

二つめは、隣接する三木総合防災公園で、陸上競技場や野球場など、スポーツ関係の施設がある。陸上競技場のスタンドの下は倉庫になっていて、災害救助のための食料や資材が備蓄されている。

災害時にはこの二つの施設が一体となって各地の防災拠点と連絡を取りあい、効果的な対策をとれるようになっていく。体験型学習・訓練には参加者の発想や工夫も生かせるメニューもあるので、ぜひ一度足を運んで体験していただきたい。



# 北播磨

# 先人の知恵



## 多可町 加美区 杉原紙



一三〇〇年の歴史と伝統を誇り、かつては日本一とうたわれた天下の名紙「杉原紙」。隆盛を誇っていた杉原紙も大正時代末期に途絶えてしまい、いつしか「幻の紙」と呼ばれるようになった。その後、寿岳文章博士をはじめ多くの研究者等の尽力により、昭和四五年、杉原紙の紙すきが半世紀ぶりに復元された。その二年後「杉原紙研究所」が設立され、紙すきの技術が大切に守り続けられている。その白さと品質で「杉原紙でなければ和紙ではない」とまで言われた杉原紙。昭和三五、六年に行われた正倉院の紙の研究調査報告でも、天平一八年（七四六年）に播磨国司が提出した「播磨国正税帳」に用いられた播磨紙（現在の杉原紙）の優秀さが明らかにされている。

楮の白皮を加古川の源流にほど近い、夏でも冷たい杉原川の真冬の水にさらして白くする。水が冷たいほど白さが増す。雪の降る中で行われる「川さらし」は冬の風物詩とも目されている。

二年前には、研究所の近くに「杉原紙の里展示・体験工房」がオープンした。多可町産の楮を水に浸した楮で「漉げた」を使った紙すきや色付けを体験することができる。



## 加東市 鴨川住吉神社

西国三三番札所の播州清水寺の近く、広葉樹の丘の麓に鴨川住吉神社が鎮座している。国の重要文化財に登録されている本殿とそれを囲む割拝殿・長床・舞堂などの建物は古い神社の形式を残して、神楽の奉納に最も都合のよい配置になっている。この神社で一〇月の初めに行われる神事も国の無形文化財である。上鴨川地区の非常に厳格な宮座制度によって、鎌倉末期に始まったと推定される祭儀がほとんど変化なく受け継がれてきたことが理由だろう。

祭りは宵宮の午後七時頃から始まるが、神庭の中央で、直径一〇m、炎の高さは三〇mにも及ぶ大かがり火（齊灯）が焚かれる。その光の中で、舞楽を連想させる太刀舞（リヨンスン）や田楽などが演じられる。



翌日の本祭りでは宵宮と同じ演目の後に能舞七番が演じられる。能舞の詞章は聞いていても（多分語らない）がよく解らないのだが、猿楽の古い姿が残っていると研究者たちは言っている。

## 加西市 五百羅漢石仏



北条鉄道の終点北条町駅から北西に約二km。北条中学校、北条小学校、北条幼稚園に囲まれた羅漢寺の境内北側に木々に囲まれて約四五〇体の石仏が鎮座している。いつ頃、誰が、何のために造ったかを知る史実も資料も、たしかな言い伝えも何一つ存在していないとのことである。

もともと石仏を造立することは亡くなった人の霊を弔う信仰心の表れである。

何百年か昔に戦争か飢饉で無残な死を遂げた人がたたくさんあり、それを当時の縁故の人、もしくは、のちの篤信の人々がやむにやまれぬ信仰心から石仏を造立して、霊を供養したのかも知れない。

拙い技法で造られた羅漢さん。素朴で表情ゆたかで、見る人の心がやさしくなる。たくさん石仏があることから「親や子の顔をみただければ五百羅漢さんにおいで」とか「自分に似た顔の石仏に会える」と言わねれている。

野趣豊かな野の仏に会いにおいでください。

## 小野市 浄土寺

極楽山浄土寺は高野山真言宗の寺院。源平合戦で平重衡に焼き討ちされた東大寺を再建するために、重源上人によって、建久年間に大部荘に播磨別所として建立された。

境内は、敷地の中央に八幡神社を配し、その前に池を挟んで浄土堂と薬師堂が向かいあう配置となっている。国宝浄土堂は、東大寺南大門とともに、大仏（天竺）様の建築様式を残す貴重な仏堂である。昭和三二年、解体修理工事が行われ、創建当時の美しい姿が復元された。本瓦葺、宝形造で、屋根の勾配が直線的の下がり、外観は低い建物のように見えるが、天井を張らない化粧屋根裏の室内は驚くほど広い。中央に高さ五三mもある国宝阿彌陀如来と両脇侍（観音・勢至菩薩立像）が安置されている。名仏師快慶の作である。

夏の晴れた日の夕刻は、背面の透かし部戸から西陽が差し込み、床に反射して屋根裏にあたり、三尊と堂内全体を朱色に染める。足元の雲坐部分はかすみ、三尊を西方極楽浄土よりの「御来迎」の姿として浮かび上がらせる。光によって堂内を幻想的な空間に変容させる計算された造りは見事である。

また寺院の東側の裏山には、四国八八カ所霊場巡りができる散策道があり、初夏には一本のあじさいを楽しむことができる。



# 私の一番星

## 音読ボランティア

林 茂代 (S32文国)

私は定年の一年前に退職した。私の町では、当時、結婚している女性は地域の婦人会に所属するのが当然のことだった。私も入会申し込みをした覚えはないのにちゃんと会員に登録されていて、退職する前から次の役員に決まっていた。

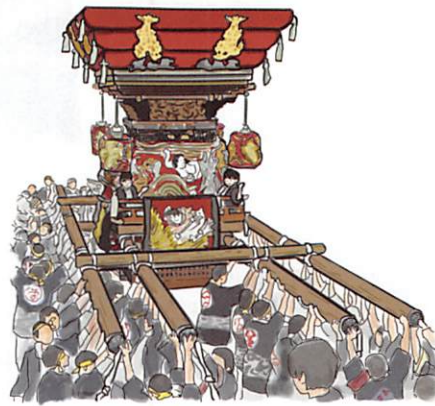
婦人会は地域の自治組織に半ば組み込まれていて、役員は町が関係する各種の行事への動員要員でもあった。市の福祉協議会が計画した朗読ボランティア養成講座もその一つである。

読むのなら何とかなるだろうと動員に応じたのがこの始まりである。発声や文の切り方などは仕事にしてきたのだからどうと言うこともなかったが、アクセントに引っかけた。私の言葉は播州弁を下地に丹波アクセントが混じっていて、どう転んでも関西弁である。そこへ、関東アクセントを主体にした共通語アクセントをかぶせようというのだから参った。アクセント辞典を引き、テキストの一語一語に印をつけて読んでいるつもりが、どうしても聴的発音になつてしまう。

講習会はすぐ終わり、小さなボランティアグループが立ち上がった。町の広報や新聞の記事、ちよつとしたお話を録音して視覚障害者に利用してもらおうというのである。始めてみると、他の人の読み方もなんと似たり寄つたりのことか。しかも回を重ねるごとに関西アク

セントに戻ってしまう。ついに、「播州人が読んで、播州人が聞くのだから播州アクセントで何が悪い」と皆で聞き直ってしまった。ただ、最低限の申し合わせとして、意味の取り違えのない読み方をする点に注意している。

朗読とは似もつかぬ単なる音読で、個性豊かと言えは聞こえは良いが、癖丸出しのテープでも、利用者の「楽しみにしていますよ。声で誰だかすぐ解る。」などと言う声を聞くとつい良い気になって一〇年余り続けてきた。



大宮大祭 三木市

## 自分なりのゴールを目指して

常深 規子 (S52理物)

私は運動にコンプレックスを抱いている。きっかけは小学校の低学年の運動会。短距離走で最下位を争い、いやだった。跳び箱も怖くて苦手だった。中学校で、運動部ではみんなについていけないだろうと思いき音楽部に入部。高校では、「運動コンプレックスを克服しよう。」と

決意し、弓道部に入部。しかし、勉強との両立は無理だと断念し、一週間で退部。途中で挫折したことがどうしても許せなくて、大学で再び弓道部に入部。いい先輩、仲間に恵まれ四年間続けることができた。しかし、運動コンプレックスが解消されたわけではなかった。そこで考えたのがジョギング。そういえば、小学校のとき、短距離走は苦手だったが、マラソンは順位もよかったことを思い出した。これならできそうだ！就職して勤務終了後グランドを一人で走った。五五歳の時、知人に誘われてランニングクラブに入った。ここでもまたすばらしいコーチ、仲間に出会えた。コーチは言う。「走ることで人生が変わる。」「苦しい時こそ頑張れ！」と。練習だけでなく、大会にも出場するようになった。まずは一〇km走にチャレンジした。そしてタイムを縮めることを目標にした。次は距離を伸ばしてハーフマラソンに挑戦。ゴールできたものの思ったように走れない。そこで憧れのマラソンに六二歳で初挑戦。途中、苦しくなったけれど、コーチの言葉を思い出し、「しんどい時こそ頑張る！」「この苦しみを超えれば必ず楽な時が来る。」と自分を励まし、その一方で、「新しい自分に会える。新しい自分ってどんな自分だろう。」と期待しながら走った。結果、制限時間内にゴール。四二・九五kmが完走できた。嬉しかった。楽しかった。清々しい気持ちでいっぱいだった。

今も運動コンプレックスが克服できたわけではない。けれど、人と比較するのではなく、自分と向き合い、自分なりの目標を見出し、それに向かってチャレンジし続ける自分でありたい。

## ピアノとの再会

合田 夏美 (S56理化)



山田錦栽培田 三木市

最近、ようやく自分の時間が持てるようになり、長い間手をつけていなかったピアノを弾き始めた。きっかけは三人の子供たちがお世話になってきたピアノの先生と、偶然にも面白い物中に出会ったことからだった。懐かしい昔話をしているうちに、「中高年のピアノもいいものですよ。弾きに來られませんか？」とお誘いを受け、月に一度でもよいとのことから練習に通うことになった。ジブリなど親しみやすい曲を楽しんでいたが、自宅で練習することもなく、先生の所に行つた時のみピアノに触れるような、困った生徒だった。でも、先生は「ここで弾かれるだけでも脳に刺激が伝わり、若返りますよ」と励まして下さり、二年ほど経つた。少しはクラシックの大作をというところで、ベートーベンの「月光の曲」第三章の練習を勧められたが、相変わらず練習しない生徒だった。先生は辛抱強く教えてくださった。情けないことに、ほとんど口伝で、手取り足取り教えていただいた。

私がピアノから遠ざかっていたのはピ



アノが別棟にあったからである。ピアノを弾かないのだったら処分するといっていた主人が、私がピアノを習い始めたのを見て、業者さんを頼んでリビングにピアノを移動してくれた。このことでピアノが身近になり、夕食の支度前など少しの時間を利用して弾くようになった。「月光の曲」も何とか弾けるようになってきた。ピアノを弾く時間は何よりも今の自分の楽しみになっている。辛抱強く待つて下さり、優しく支えて下さった先生と主人の理解に心から感謝している。「今さらピアノ」ではなく「今だからこそピアノ」である。



のこぎり屋根織物工場 西脇市

## 大学時代の思い出

田原めぐみ (H11理情)

私は中学・高校・大学と卓球部に所属していた。そして、今は母校に戻り、数学教師をしている。部活動はもちろん卓

球部顧問。

大学に入学した時には「違うスポーツをしてみよう」と考えていたが、生協の掲示板に貼ってあった「春季関西大学生リーグ日程」を見て血が騒

ぎ、卓球部へ入部してしまった。手前側で華やかなダンス部が練習する体育館の奥側で卓球部はひっそりと練習していた。京都・大阪・神戸へ試合に出かけて、帰りに疲れて眠ってしまったも、近鉄奈良駅は終点なので、乗り過ごすこともなく、寮へ帰ることができた。奈良駅に着いても目が覚めず、車掌さんに「終点ですよ」と起こされたこともあったが…。

全国国公立大学卓球大会・近畿国公立大学卓球大会・関西国公立大学卓球大会など、国公立大学生だけが集まる大会があった。奈良女卓球部のチームメイトにも恵まれ、団体戦で優勝することができた。試合や試合後の飲み会を通じて、国公立大学に卓球友達がたくさんできた。全国国公立大学卓球連盟によるヨーロッパ遠征にも参加させてもらい、全国に卓球友達ができた。

卓球を通して様々な経験をする事ができ、交友関係も大学内にとどまらず広げることができた。卓球は長く続けることのできるスポーツで、今も生徒と練習したり、試合に出場したりしている。今



北京にて

年の夏休みには、中学の卓球部の同級生で北京に住んでいる友人を訪ねて、北京の公園で青空卓球もしてきた。

そんな私のさやかな夢は、国公立大学の卓球部に教え子を送り込むことだ。母校であればなおよい。今、高校の卓球部は女子の団体戦が組めないチームが多くなっている。大学も部員集めに苦労していることだろう。卓球を通して得た経験や交友関係は私の大切な財産だ。そんな経験をしてくれる後輩を、いつか国公立大学へ送り込めるように、頑張りたい。



鴨池 小野市

## 友人達

加藤美奈子 (H13文日亜)

この『私の一番星』というテーマをいただいて真っ先に思い浮かんだのは、学生時代の部活動を通じて知り合った六人

の友人達のことである。

入学してすぐの語学クラスが同じだった縁で誘われて入部した軽音楽部で出会い、ビートルズや当時流行していたJPOPなど自分たちの好きな曲を演奏していた。ビジュアル系と言われるバンドも人気があったころなのでマネをしてみたこともある。

卒業してから二十年近くが経ち、各地方でそれぞれ生活しているが、友人達とは毎年秋に集まることを恒例にしている。例えば、学生時代に中庭のベンチでおしゃべりをしていたころに戻ってしまう。

卒業後に歩んだ道はバラバラで、働きながら社会保険労務士の資格を取った人がいれば、教師になって高校で教えている人もいたり、専門学校で資格を取り医療の道に進んだ人もいる。みな家庭を持ちながら仕事にもしっかりと向き合っている。そんな姿に会うたびにいつも刺激を受けている。

私自身は関東の製薬会社に営業として勤務した後、兵庫県に戻って公務員になった。昨年育児休業から職場に復帰したばかりで、3才と1才の男の子の育児と仕事との両立は、まだまだ上手いかならないことがたくさんあるが、友人達に胸を張って頑張っていると伝えるように、日々の業務に取り組んでいるつもりである。

業種や住んでいる環境も違うが、離れているからこそ、悩みを相談できたり、素直にアドバイスを聞けたりする友人達が私にとっての一番星であり、進む方向を示してくれていると思うている。

## 佐保会に想う

## 佐保会とともに

村田好子 (S39 家食)

大学を卒業した年、佐保会兵庫支部の総会の案内が来たので、何も考えずに出席した。会場の名前は忘れたが、出席すると、先輩の方々が暖かい言葉をかけていただいていたのを感じている。しかし、落ち着いて会場を見ると、教育界の第一線で活躍されている方々が多く、「私のようなひよこが来る場所ではない。」と恐れをなして、それ以来佐保会にご無沙汰していた。

その後、故竹崎美佐保様を中心に北播磨もより会ができて、仲間に入れていただいて、再び佐保会と縁ができた。もより会では毎回先輩から知恵や生き方を学び、若い方からは最近の情報を聞きながら楽しい一日を過ごしている。

平成二〇年に当時の支部長山本よしみ様から事務局を手伝うようにというお話があり、数年間事務局の仕事をする事になった。そのおかげでたくさん知人友人ができ、私の世界が広がった。かつて同じ学び舎に在籍していたということで、安心して心を開いて交流できる佐保会は本当に素敵な会だと思う。この佐保会が益々発展していくことを祈る。

## 図書館滞在症候群

高階時子 (S48 文国)

大学図書館に二七年間勤務した。仕事



ひまわりの丘公園 小野市

を通して図書館という施設がますます好きになった。六〇歳定年まで勤めるつもりだったが、目の調子がどんどん悪くなり視野に異常をきたすようになって五〇代半ばで退職した。退職後すぐと昨年の三月と、二度の目の手術を受けた。佐保会の先輩方のご尽力もあり、退職後も図書館関係の仕事を得て週に三日ほど働いている。目のトラブルを抱えながらも活字中毒で、公共図書館や大学図書館などをよく利用している。自宅で静かに本を読んだり書いたりするよりも、活気のある図書館に行きたい。集中して書き物を書きたい時、書齋としても図書館を利用したい。適度に人の目があるのがいい。自宅にいると草引きを優先したり、余計なものを入れたりする意志薄弱な私は、人の気配やにぎわいがあり、かつ自分の座席がある図書館がいい。本や雑誌を読みたい時は図書館に行く。気持ちが沈んで何もしたくない、あるいはのんびりしたい時も図書館に行く。どんな時

でも本が並んでいる図書館にいると心が落ち着く。そして静かな力が奥底から湧いてくるような気がする。老後は足腰が弱ってもなんとか歩いて行ける大きな図書館の近くに住みたいと思う。こんな自分に「図書館滞在症候群」と勝手に病名をつけている。かなりの重症である。私が住んでいる加東市の人口は約四万人で、四つの図書館がある。人口の割にはとても恵まれた環境と言える。最寄りの図書館までは歩いて二〇分ほどなので、空いている時間があると散歩を兼ねて出かけている。ただ残念な点は館内で自分のパソコンが使えないことだ。

二年前、岐阜市の「みんなの森ぎふメディアアコスモス」を訪ねた。広大な敷地に「知の拠点」として岐阜市立中央図書館(二階)、「絆の拠点」と「文化の拠点」として一階に市民活動交流センター、ホールなどがあり、建物に隣接して広場が設けられている。二〇一五年七月オープン。訪ねたのは平日だったが多くの人が賑わっていた。閲覧席・学習席・パソコンが使用できる席・グループ学習席・屋外テラス席などさまざまなタイプの座席が九〇〇以上もあるという。調べものをする時、ひとりでゆっくり本を読みたい時(ぼんやりしていたい時)、グループで作業をする時など、その時々に応じて座席を選ばばよい。人々と共に楽しみたい場合はイベントや交流の場に加わってみればよい。「個」と「共」のどちらの居場所もあるということがたいせつ。老後はこんな施設がある岐阜市に住んでみたいと思つた。各地の図書館を訪ねては、行く先々でその近くに住みたいと思うのだから困ったものだ。

## 短歌

高階時子 (S48 文国)

わが郷を

走る電車は二両なり  
若葉色した蛹にも似て

背高き

無人駅舎の夕チアオイ  
駅員として今朝も微笑む

六月の空き地は白き

ヒメジョオン

リースのセーター

編みたくなりぬ

## 支えられて

門脇千里 (S53家食)

自由に羽ばたいてみたい。四〇数年前の一八歳の夢見る夢子が、家を出るたつた一つの方法は、奈良女子大学に入学することだった。

運良く入学できた大学生生活は、学科、ソフトテニス部、寮や下宿等で交流のあった多くの人たち、そして先生方から刺激を受け続け、充実した四年間だった。卒業直前に思いがけないことが起こり、実家に戻るはめになった。その時、一緒に仕事をしませんかと声をかけてくださったのは佐保会の大先輩。高校家庭科教員のスタートだった。その後、正規教員として勤務した学校で佐保会の先輩に本当にお世話になった。「宇宙人が来た」という思いではなかったかと思うが、二年間、教員生活の原点を教えてもらった。



岩座神の棚田 多可町加美区

そんな折、新聞で「摺針峠」の記事を目にした。大学在学中に行われた講堂(今は記念館)の緞帳の披露目式でみた「爛漫」の作者である小倉遊亀氏の作品である。修行僧が京を出てこの峠にさしかかった時、白髪の老婆が石で斧を磨いでいた。聴くと一本きりの針を折ってしまったので斧を磨いで針にするという。気の遠くなるような話を聞いた修行僧は、自分の修行の未熟さを恥じ、急ぎ京に戻り、修行に励んだという。その後、再びこの峠を訪ねた僧は、「道はなお学ぶることの難からむ斧を針とせし人もこそあれ」と詠んだと伝えられ、この峠は摺針峠と呼ばれるようになった。小倉遊亀氏の「摺針峠」は、弘法大師であったといわれる修行僧と白髪の老婆との摺針峠での出会いを描いたものである。仕事を思いあぐねっていた教員二年目の私は何かが吹っ切れた。

以降、退職まで教員生活を全うできたその陰には、時どきに多くの佐保会の先輩方にいただいた大きなお力添えがあった。退職するとき、教員になってよかったという思いが心の底から沸々とわき上がってきた。奈良で過ごした四年間の日々が私を教員にしてくれたと感慨一入である。そして、もう何年になることや、「摺針峠」の絵葉書はいつも私の身近にある。

## 教員としての誇り

長谷川愛 (H21環健)

私の学生時代の学習態度は決してまじ



中央公民館播州歌舞伎クラブ 多可町中区

めなものであったとは言えないが、教授や先輩、友達に恵まれたおかげで、とても充実したものであったと自負している。また、社会人になってから佐保会の先輩方にお会いし、仕事に対する情熱や、専門性の高いお話をうかがうたびに、私も先輩方のようになりたいという気持ち強く持つようになった。佐保会の一人として、一人の教員として、誇りを持って教壇に立ちたいと思っている。

現在、私は高校で家庭科を教えている。家庭科は、調理や栄養、被服製作など、生活する力をつけると同時に、生活の知恵には、必ずその科学的な原理・原則があつて、他の教科で得た知識と、生活を結びつけることができる教科だと考えている。学生時代に所属していた生活健康学専攻では、呼吸のしくみ、体内の浸透圧調整、ストレスとホルモンの影響など身体の生理学的な機能を学んだ。「どうして呼吸ができるのか」という原理を知ったときに、学びの面白さを実感した。



フラワーセンター 加西市

この感覚を伝えられるように努力している。

私の勤める学校では、「共生」という科目が設定されており、地域の方との関わりや就業体験実習を通して、社会の課題に目を向ける学習を行っている。生徒たちは活動を重ねることに自発的になり、自信をつけていく。ある生徒が「先生、私たちの高校生活では、高校生同士でしか話す機会がなくて、世代間の交流が、本当にないなと気づいたんです。高齢者も子どもも暮らしやすい社会になるためには、もっと世代を超えた交流が必要だと思っんです。自分が住んでいるまちに、もっと力を注ぎたい。」と、さらさらした瞳で話してくれた。

生徒たちと関わる私自身が地域の方と一緒に活動し、生徒たち以上に社会の動きに着目できる人になりたいと思っています。いつまでも学び続ける姿勢を持ちたいと思う。

平成29年度 佐保会兵庫県支部役員・各委員等

役職名	氏名	卒業年学部等	地 区
支部長	永福 より子	S44 家住	神戸市北区
副支部長	橋本 陽江	S50 理修化	明石市
庶務	中井 昌子	S43 家食	伊丹市
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
	西山衣里子	H16 博前人	神戸市中央区
会計	谷本 彰子	S49 文英	神崎郡福崎町
	門脇 千里	S53 家食	加東市
	富山 和子	S53 家住	たつの市
会計監査	上田 俊子	S37 理数	神戸市東灘区
	出田美栄子	S45 文教	姫路市
「樺の会」 運営委員 (○印代表)	○鈴木美根子	S42 家食	神戸市西区
	片寄眞木子	S36 家食	尼崎市
	山下 知子	S39 理物	神戸市東灘区
	岩崎 雅美	S44 家被	明石市
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
ホームページ 研究会 運営委員 (○印代表)	○丸岡 玲子	S53 理数	明石市
	中村 京子	S32 理物	神戸市東灘区
	鈴木美根子	S42 家食	神戸市西区
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
	桂 美穂子	S46 理生	姫路市
	賀川 栄	S48 理数	たつの市
	山本三和子	S55 理化	たつの市
	西山衣里子	H16 博前人	神戸市中央区

一般社団法人佐保会	監事	山崎古都子	S43 家修住	芦屋市
	理事	片寄眞木子	S36 家食	尼崎市
		中井 昌子	S43 家食	伊丹市
	代議員	上田 俊子	S37 理数	神戸市東灘区
		鈴木美根子	S42 家食	神戸市西区
		永福 より子	S44 家住	神戸市北区
		松本佳代子	S44 文英	神戸市東灘区
		乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
		橋本 陽江	S50 理修化	明石市
		谷本 彰子	S49 文英	神崎郡福崎町
山本三和子	S55 理化	たつの市		

一般社団法人佐保会監事、理事、代議員の任期はH30.7.31まで

平成28年度事業  
平成28年5月13日(金) 拡大役員会(神戸市勤労会館)  
6月12日(日) 支部総会(ANAクラウンプラザホテル神戸)  
8月21日(日) 第22回地区リーダー会(神戸市勤労会館)  
10月19日(水) 第41回陸会(風月堂ホール)(昭和48年卒業者担当)  
11月10日(木) 第17回佐保塾 史跡めぐり 日本三古湯 有馬温泉歴史散歩  
平成29年2月1日(水) 「支部たより」第40号発行(三田市担当)  
2月11日(土) 「支部たより」第40号、「佐保会報」[「Today」等、全会員に発送]  
2月18日(土) 「支部たより」引き継ぎ会(三田市) ↓北播磨地区)  
3月25日(土) 会計監査役員会  
☆事務局会議 計9回の開催  
平成29年度事業  
平成29年6月3日(土) 支部総会(風月堂ホール)  
8月20日(日) 第23回地区リーダー会(神戸市勤労会館)  
9月30日(土) 拡大役員会(神戸市勤労会館)  
11月8日(水) 第42回陸会(楠公会館)(昭和49年卒業者担当)  
平成30年3月1日(木) 「支部たより」第41号発行(北播磨地区担当)  
3月3日(土) 「支部たより」第41号、「佐保会報」[「Today」等、全会員に発送]  
3月3日(土) 「支部たより」引き継ぎ会(北播磨地区) ↓東灘区)  
3月31日(土) 会計監査役員会  
☆事務局会議 計8回程度の開催  
(参考)平成30年度について  
(1) 支部総会 5月27日(日) (ホテルクラウンパレス神戸)  
(2) 「支部たより」第42号 編集は東灘区の担当  
(3) 「第43回陸会」は昭和50年卒業者の担当

事務局だより

平成28年度収支決算報告、平成29年度収支予算

支出の部 (円)

科目名	平成28年度決算	平成29年度予算
総会補助費	63,504	60,000
通信費	231,408	250,000
印刷費	28,396	40,000
交通費	158,926	140,000
事業費	支部だより作成費	220,000
	陸会補助	70,000
	樺の会	60,000
	ホームページ研究会	30,000
	地区リーダー会	67,791
もより会補助	177,590	167,040
慶弔費	92,319	70,000
事務費	146,102	150,000
予備費(H28のみ佐保塾)	11,670	0
小計	1,357,706	1,302,040
次年度繰越	3,783,527	3,413,301
合計	5,141,233	4,715,341

収入の部 (円)

科目名	平成28年度決算	平成29年度予算
前年度繰越	4,161,948	3,783,527
支部会費	794,000	800,000
貯金利息	898	3,014
本部より補助	128,156	128,800
雑収入	4,816	0
寄付	51,415	0
合計	5,141,233	4,715,341

＜ご寄付いただきありがとうございます＞

編集後記

今年度で41号を迎えた佐保会兵庫県支部だよりを、支部長様、事務局の皆様をはじめ多くの方々のご協力により、お届けできることに心から感謝申し上げます。

原稿を引き受けてくださった皆様には、前向きなお姿に大きな元気をいただきました。それとともに、佐保会員という縁に心地よい温かさを感じました。これらが、「私の一番星」、「佐保会に想う」という特集テーマになりました。

また、ひとたび地元の北播磨に目を向けると、さまざまな魅力があり、地元への思いが一層深まり、佐保会の皆様に北播磨のことを知っていただきたいという思いが強くなりました。この思いが、「北播磨 先人の知恵&現代の科学技術」というテーマに繋がりました。

多くの貴重な出会いを得、佐保会員としての誇りと喜びをより一層感じることができましたことを編集委員一同心からお礼申し上げます。

編集委員 (岸本 林 村田 高階 常深 門脇 合田)

資産内訳 (平成29年3月25日現在)

定額郵便貯金	2,450,000
郵便貯金	183,618
振替貯金	1,149,909
合計	3,783,527